

琵琶湖・淀川の未来を見つめる情報誌

BY BLUE

BIWAKO YODOGAWA

WINTER 1999

Vol.4



●特集

馬場章夫がめぐる
伊吹の湧水

●BY BLUEレポート

琵琶湖のアユを守り育てる
姉川・安曇川人工河川

水のある風景

いくつもの自然の風景を通りすぎてやがてまちへと流れつく水。清らかで素朴な表情のまま、水はじつと人々の営みをみつめ続けている。

PHOTO JOURNEY
京都府
桂川・上野橋より
松尾橋を望む

4



京都屈指の景勝地・嵐山の渡月橋を境に、保津川の流れは桂川と呼び名をかえて市街地へと続いていきます。嵐山のにぎわいから少し離れて、松尾橋あたりには、飾りすぎない、親しみのある水辺空間が。ゆるやかな川の流りに歩調を合わせるように、時間もゆったりと流れていくようです。

「水のある風景」 写真募集

(採用させていただいた方には
記念品を差し上げます)

このコーナーでは、あなたが写した琵琶湖・淀川流域の写真を募集しています。

[応募要領] 撮影場所・撮影年月日・住所・氏名・電話番号を明記して右記まで。

〒541-0041

大阪市中央区北浜1-1-30 横井北浜ビル3F

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

「水のある風景」係

応募いただいた作品はご返却できませんのでご了承ください。

森あってこそその琵琶湖

琵琶湖は400万年前に出来た天然のダム。それは下流1400万人の水がめ。「水がめ」の語には、その水を使う一方なら底をつく、誰かが常に汲み入れられない限りは、という意味があります。琵琶湖という水がめにも常に水の補給が必要ですが、一体誰が汲み入れてくれているのかを考えたことのある人が、果たして1400万人のうち何人あるのでしょうか。

汲み入れ役、それが琵琶湖を取り巻く森林です。晴天続きでも常に水を供給してくれますし、大雨でも琵琶湖を溢れさせません。勿論限度がありますが。そして琵琶湖を満たす水の殆どが、滋賀県の山々に降った水です。仁徳天皇の「民の糶は賑わいにけり」以来、大坂築城あり、大阪万博あり、そして五輪計画ありの大阪の活動も、水がめ琵琶湖と汲み入れ役の森林が無ければ成り立ちますまい。

96年開館の琵琶湖博物館も、その重点テーマは琵琶湖そのものと森林、その開館記念シンポジウムも水と里山の二本立でした。

ところがその森林が今ピンチです。歴史を遡れば、藤原・平城京建設に材木を提供し、はげ山となった田上山の悲劇がありました。しかし現在のピンチは伐採ではありません。その逆に、基幹産業であった林業が長期的不況で、森林地帯に手入れ不足の人工林(県下森林面積の42%)が目立ち、その水源かん養能力が失われつつあることなのです。

今や森林は所有者個人の財産ではなく、全ての人間の環境を守る共有財産です。とすれば恩恵を受ける下流は、上流のピンチを救わないといけません。上流森林地帯と下流都市域との連携はまだ不十分です。勿論森の恵みは水だけではありません。過去、森林の生み出す環境は森



ブレック研究所生態研究センター長
名古屋大学名誉教授

只木良也

林の副産物として無償で提供されてきました。主産物である木材が不況の今日、今までの無償副産物も林産物と位置付け、環境生産を産業として成立させるシステム作りを急がねばなりません。わが国の環境の中核である森林が崩壊してしまう前に。

始点・視点



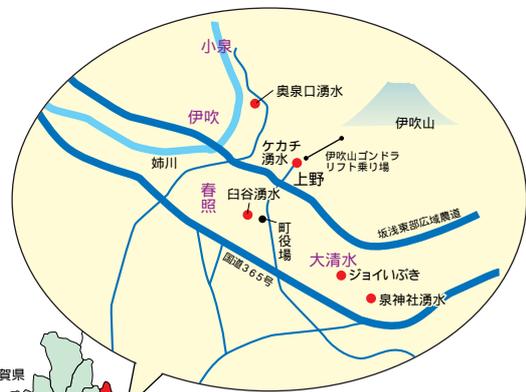
馬場章夫がめぐる 伊吹の湧



ノドの渇きをいやしてくれる水
さわやかで心地よい水
心にやすらぎと潤いを与えてくれる水…
自然の水はたくさんの不思議な力で
私たちを魅きつけます。
ラジオパーソナリティとしてもおなじみの馬場章夫さんも、
そんな水の魅力にひかれる一人。
ふるさと滋賀をぶらり歩くワンデイウォークのお目当ては、
やはり「水」。
美しい水、おいしい水を訪ねて、
ばんちゃんが伊吹町を歩きます。

【ばんば・ふみお】1939年、滋賀県生まれ。ラジオパーソナリティ。京都市立美術大学在学中にワンダーフォーゲル部、探検部に所属したことから旅人生が始まる。台湾探訪記が毎日新聞に掲載されたのを機に、ラジオ放送などのマスコミに携わる。パーソナリティを務める「ごめんや馬場章夫です」(MBS)は今年で27年目を迎える。趣味は放浪、探検。

「どこかで水を求め、 水のあるところへ行っている」



「人間の身体の約七割が水、そして地球の表面も六割五分が水。こんな数字を見ると、水と人間、そして地球の神秘的なつながりを感じるんですわ」琵琶湖のほとり、滋賀県高島町に生まれた馬場さんは、もの心がついたときには川で魚と遊んでいたといいます。学校をサボっては川遊びに興じていた少年時代。「自分にとって、水はいちばん安心できるもの」という思いは、ずいぶん大人になった今も変わっていないよう。「地球が一個の生命体だとすると、水は地球の体液や血液、リンパ液。すべての細胞の間を満たし、またその間を循環しているとても大切なもの。僕が旅をするときは、どこかで水を求め、水のあるところへ行っているような気がします」そんな馬場さんが今回訪れた伊吹町も、やはり水にゆかりの深い町。滋賀県の最高峰・伊吹山麓に広がる扇状台地を占める町には、いくつもの名水が湧き出ているのです。ラジオの仕事を通じて、環境庁が選んだ「名水百選」巡りの取材を続行中の馬場さんは、今回も興味津々。リュックにコップとヒヤクをしのばせて、「どんな味の、どんな顔の水に出会えるか楽しみですなあ！」

伝説に満ちた歴史の水

馬場さんがまず訪れたのは、伊吹町の南端、大清水の泉神社境内にある湧水。『伊吹三石水の一つとして2千年来湧れることのない御神水は』という案内文でもわかるように、「ここは長い歴史のある湧水で、ヤマトタケルが傷をいやしたという伝説や、天智天皇がこの地を百場留練場と定めてから湧きだし、以来「天泉所」と呼ばれるようになったという言い伝えがあります。

神社の石段脇の岩間から吹き出す水はかなりの勢い。1日約4,500リットルという豊かな湧出量です。さっそく持参のコップを取り出し、湧水口からしぶきをあげて水を汲んだ馬場さんは、あふれそうなコップを掲げて「見ただけでもおいしそやねえ」と、すでに満面の笑み、初めのひと口を含んでじっくり味わう。「うん、うまい。おいしい」と何度もうなずきます。「伊吹山の源流から、石灰岩の岩間をなんぼもなんぼもろ過されてきたんでしょ。ミネラルをいっ



「ほらほら、岐阜ナンバーのライオンも来てますよ。近所の人だけやないんですなあ。馬場さん、この湧水の人気にはちょっとびっくり。えらいごうさん汲んでいかはるんですなあ。」「ええ、ご近所5家族分なんですよ。」「いつも夫婦で来てはるんですけど？」「私ら仕事を引退しんだから、こつやつて決まった時間に水をいただきにくるのが唯一の日課なんですよ。」「しばし、馬場



水汲みの人たちと話がはずみます

ばい含んでるっていう感じ。まろやがておいしい水ですよ。大切な水を人が守って：：水も人も幸せ

豊かな水量と水質のよさで、「名水百選」にも選ばれている。泉神社湧水は、国道365号線から近く、地域の生活水としても人気。この日も、手に手にタンクやペットボトルを持った人々が水汲みの列をつくっていました。

内もかつて出てくれました。

ケカチ湧水

ヤマトタケルも正気をとりました！

森さんの案内でやってきたのは『ジョイいぶき』から2kmほど北に行った伊吹山の登山口。伊吹山スキー場の「ゴンドラリフト乗り場のすぐそば、上野三の宮神社の裏手からあふれ出る「ケカチ」と呼ばれる湧水です。

大きな石の間を勢いよく流れる水は、清らかで冷たそう。「名水百選」のひとつ、泉神社湧水にも負けずとも劣らない豊かな水量です。「故事によると、暴れる神々を征伐にやってきたヤマトタケルが、逆にその毒気にやられたとき、この水を飲んで正気を取り戻したという「命の水」なんですよ」と森さん。伊吹山は古くから霊場とされていて、山に登る人々は必ずこの水で身や心を清めたのだそう。「ほな僕もちょっとお清めを」と帽子をとって顔を洗った馬場さん。「ホーッ、冷たい。伊吹



森さんのお話に興味津々

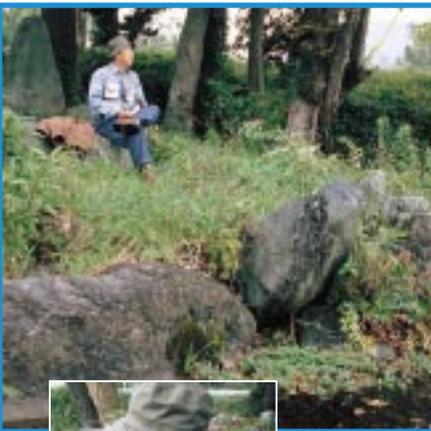
実は森さん、以前、町史編集の仕事に携わっておられた方で、伊吹の水に閉じておられた豊富な知識の持ち主。古文書に書かれている史実や水にまつわる伝説、そして最近の管理状況などを詳しく教えてくださっただけでなく、伊吹名水のひとつ、「ケカチ湧水」への道案



できたての水で顔を洗うのは最高！



泉神社湧水は「名水百選」のひとつ



心がやすらぐ水辺で一休み



奥泉口の湧水はまるやかだけど野性の味

ばんちゃんも活力をとり戻したケカチの湧水

さんと水汲みの人たちの会話に花が咲きます。「よろしいなあ...いい水があった、それを大事にする人たちがいる。この水は」

水辺の木陰は憩い空間

大清水地区から西へ約4km。馬場さんが次に訪れたのは、春照地区にある「白谷湧水」です。春照は北国街道の宿場町として栄え、集落ですが、この地域は村はずれの白谷湧水のほかにはずすかに神水という湧水があるだけで、飲料水は主につるべ式の井戸に頼っていた集落。今は水田の用水として使われています。

ここには天然記念物のハリヨが棲んでいることから、最近では「ハリヨの湧水」と呼ばれることも多いとか。水辺には石が置かれ、澄んだ水の下には砂利が敷かれています。勢いよく流れ出る先程の泉神社湧水とは趣を異にして、こちらは、庭につくられた静かな池といった感じ。湧水の味を確かめたいです。



「ほらほら、こんなところから水が湧き出てあ。」

山産のできたての水ですわ。これは気持ちよさしいでえ。ヤマトタケルのように、正気と活力をとり戻したみたいですよ。...

奥泉口湧水

手つかずの野性の味

そして、この日馬場さんが最後に訪れたのは、これも森さんに教えてもらった、奥泉口湧水。奥泉は大平寺城峯堂の山麓のあちこちから湧き出る水で、これらが集まって流れ出る所が奥泉口です。

姉川沿いに伊吹地区から小泉地区へ続く道路脇にあるこの湧水は、これまでの湧水のようにと比べると、人による整備がほとんどされていない、手つかずの自然のままの湧き水といった感じ。水は自ら草木の茂みの間に道をつくり、そこを流れてきます。馬場さんは足元の悪さも気にせず、流れる脇に陣取って、今度はヒシヤクで水をすくい取り口へ運びます。「伊吹山の水やから、さすがにまるやかでおいしいけど、ここが野性の感じ、自然の味が強いような気がします。あたりの雰囲気はいいですね。」

茂みの中にかわいいう白い花を見つければ、「これなんていう名前前の花でしたやろ。帰って図鑑調べなあきまへんな」と花にカメラを向けた馬場さん。「水を訪ねていくことは、こんな花に出会うことでもあり、森さんのような人に出会うことで



水を訪ねれば花にも出会う



▲滋養豊富で清らかな伊吹山

ばんちゃんからのメッセージ
地球は水球で、人間は水袋。生まれたての赤ちゃんのみずみずしいこと。年をとって、老いていくということは、体の内部から水が逃げ出すことにほかなりません。老化とは、乾燥化のこと。地球も、人間も乾いたらあかんです。水の近くで暮らしたい。おいしい水が飲みたい...。みんなで水を大切にしましょう。生命も健康も国の未来も水にかかっています。

琵琶湖のアユを守り育てる

姉川・

安曇川人工河川（滋賀県）

琵琶湖のアユの漁獲量は年間約1,500t。琵琶湖漁業の中で漁獲量・生産額ともに1位を占めており、最も重要な水産資源となっています。今回訪れた姉川人工河川と安曇川人工河川はアユの産卵場を人工的につくった施設で、琵琶湖のアユ漁業に大きく貢献しています。

河口部の水位変動が産卵に影響

琵琶湖のアユは、春になると川を上り上流で大きくなるものと、川に上らず琵琶湖の中で生活してあまり大きくならないものがあります。どちらにとっても夏の終わりから秋にかけてが産卵の時期。アユの唯一の産卵場は琵琶湖へ流入する河川の

河口部分です。もし渇水などで琵琶湖の水位が低下して河口部が干上がった場合には、アユは産卵場を失ってしまふことになり、漁獲量にも大きな影響及びます。姉川人工河川と安曇川人工河川は、自然の影響を受けやすいアユの産卵場を人工的に確保し、より高い水準で安定したアユ漁獲量を得るためにつくられた施設です。



姉川人工河川には親アユ飼育池が15面



安曇川人工河川の流路延長は653m

人工河川は親アユ飼育池や産卵の場となる産卵床水路などから成ります。姉川人工河川は親アユ飼育池が中心となっており、施設面積は13,000㎡。一方、安曇川人工河川は31,000㎡の面積を持ち、産卵床水路が中心となっています。琵琶湖から人工河川にそよそよとくる天然アユの産卵期から人工河川で飼育したアユの産卵期を計画的にずらすことにより、1シーズンに3回の産卵が可能で、アユの産卵期をコントロールするための施設が親アユ飼育池です。天然アユは9月に産卵しますが、親アユ飼育池では、夜間に電灯を照らし日照時間を調節して産卵期を8月下旬または9月下旬、10月上旬にコントロールします。姉川人工河川で産卵期を8月下旬にコントロールされたアユは、安曇川人工河川の産卵床水路へ運ばれます。

電照飼育で産卵期をコントロール

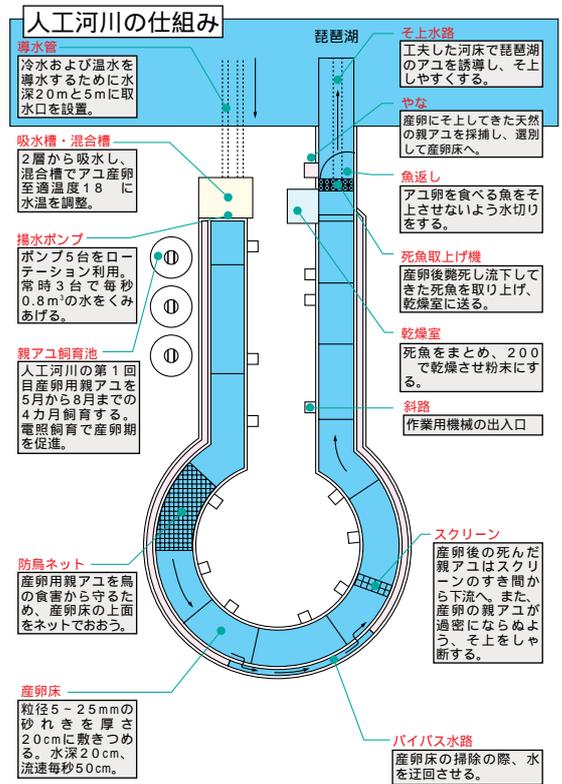


親アユ飼育池の周りには電照飼育のためのたくさんの電灯が

砂れきが敷きつめられた産卵床の河床



産卵床へ移される親アユ



アユ産卵に最適な環境を整える



「人工河川ができてからは、琵琶湖のアユ漁獲量は安定しています」と、滋賀県水産振興協会理事の平塚忠征さん

人工河川を流れる水は、琵琶湖から2本の導水管を通して取水されます。そのうちの1本からは水深20mの冷たい水（9月上旬12℃）を、もう1本からは水深5mの温かい水（9月上旬26℃）をとり入れ、これらの水を混合してアユの産卵に最も適した18℃の水温に調整します。

産卵のため琵琶湖からそよ水路を通じて来た天然アユは捕獲されて、産卵床へ移されます。産卵床の河床には粒径5～25mmの砂れきが20cmの厚さに敷き詰められ、その上を水は水深20cm、流速50cm/秒で流れています。このような条件の設定は、実験のために最初建設された姉川人工河川での調査研究の結果に基づいてなされたものです。親アユはこの河床の砂れきに卵を産みつけ、わずか1年の短い一生を終えるのです。産みつけられた卵は、約2週間後にはふ化し、琵琶湖に流下します。産卵を終えて死んだアユはベルトコンベアで回収され、乾燥室に送られて粉砕されます。この魚粉は果樹園の肥料などに有効利用されています。

人工河川は着実に実績をあげ、毎年約40億尾のふ化した仔魚を琵琶湖へ送り出しています。昭和56年に人工河川が稼働して以来、琵琶湖におけるアユの漁獲量は約1,500tで、以前より高い水準で安定しているとのこと。そのうち半分近くが河川放流用や養殖用として全国各地へ出荷されています。



琵琶湖・淀川水系の環境基準満足状況

環境基本法 広く、深く環境問題に対処するために

現代の大量生産・大量消費・大量廃棄の経済社会システムは、地球規模で環境に大きな影響を与えています。そこで、わが国では平成5年に「環境基本法」という法律が制定され、水質汚濁や大気汚染などの公害対策だけでなく、リサイクルや環境教育など、環境にやさしい経済社会を構築するための新たな施策が盛り込まれました。

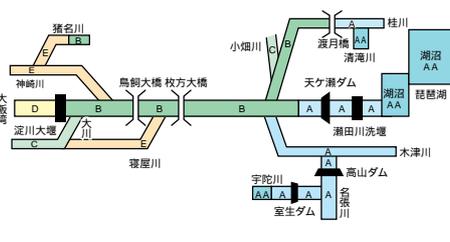
環境基本法に基づき定められた環境基準

環境基本法では、大気、水質、騒音および土壌のそれぞれについて、人の健康を守るうえで維持されることが望ましい基準値が環境基準として定められています。

水質の汚濁に係る環境基準は、「人の健康の保護に関する項目」として生活環境の保全に関する項目に分けられ、前者はシアン、アルキル水銀等23項目について全公共用水域に一律で定められており、後者は、河川ではBOD、COD、湖沼・海域はCODを

が定められています。これらの項目は、水道水や水産など利用目的に応じて分類された水域ごとに基準値が設定されています。

[水域類型図]



[BOD, CODの環境基準値]

類型	河川 (BOD)	湖沼 (COD)
AA	1mg/ℓ 以下	1mg/ℓ 以下
A	2mg/ℓ 以下	3mg/ℓ 以下
B	3mg/ℓ 以下	5mg/ℓ 以下
C	5mg/ℓ 以下	8mg/ℓ 以下
D	8mg/ℓ 以下	
E	10mg/ℓ 以下	

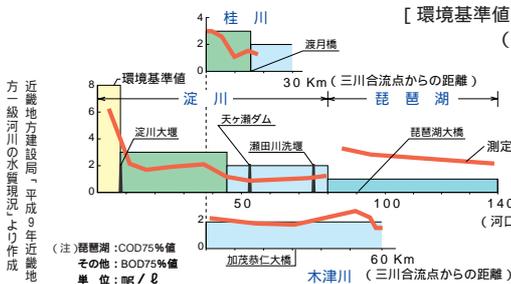
依然環境基準を上回る琵琶湖の水質

平成9年の琵琶湖・淀川水系の環境基準の満足状況を見ると、健康項目では、一級河川の38の主要観測地点全てが環境基準を満たし

ています。しかし、生活環境項目のBODにおいては82%（38地点中31地点が満足）と、前年と比べると16%アップしているものの、7地点が上回っているのが現状です。

そのうちの6地点は木津川水系が占めており、近年の宅地や工業用地等の開発の影響による水質汚濁がうかがえます。桂川は、昭和50年頃は水質が悪い状態でしたが、京都市内の下水道整備が進んだことや、工場排水規制がなされたことなどにより、改善されてきており、平成9年は全ての地点で環境基準を満たし、下流の淀川でも全ての地点で環境基準を満たしています。また、下流での汚染が進む猪名川の水質は、昨年に引き続き全国一級河川のワースト5に入っています。また、琵琶湖のCODに

[環境基準値と水質現況 (平成9年)]



用語の説明

BOD、CODの75%値...環境基準の達成評価はBOD、CODについては、測定された年度のデータのうち75%以上が基準値を達成しているかどうかにより評価する。例えば、月1回の測定の場合、日平均値を水質の良いものから並べたとき、水質の良い方から9番目となる値が75%値となる。

環境基準を満たすために、さまざまな対策を実施するための法律が定められています。定期的な水質測定や、工場や事業場からの排水規制を定めた「水質汚濁防止法」や、瀬戸内海や湖沼など汚濁しやすい閉鎖性水域の水質汚濁を防ぐための「瀬戸内海環境保全特別措置法」、「湖沼水質保全特別措置法」といった法律により、CODや窒素、リンの排水規制がなされています。そのほか、水道水源の水質保全を目的とした法律や下水道に関する法律などに基づいて、さまざまな規制や汚水処理施設の整備が行われ、水質汚濁削減の取り組みがなされています。

さまざまな法律による水質保全対策

おける環境基準の満足状況を見ると、平成8、9年ともに南湖19地点と北湖28地点の全てで環境基準を上回っているのが現状です。室素北湖・南湖(やりん(南湖))についても環境基準を上回っており、依然として富栄養化によるアオコや淡水赤潮等の発生が問題となっています。

海外調査団報告

テーゲル湖(ドイツ・ベルリン市)のリン浄化施設

今回は、96年6月にハンガリー・ドイツ・オーストリアを訪れた当機構調査団のレポートから、ベルリン市にあるテーゲル湖のリン浄化施設について紹介します。

藻類異常発生危険にさらされるベルリンの湖

ベルリン市の水道水源となっているテーゲル湖やハーベル湖では、近年、富栄養化が進行し、藻類が異常発生するという危機的な状態となり、藻類の発生を抑制するために主原因となる湖水中のリンをしっかりと減らすことが最も確かな解決方法とされ、ベルリン市によっていくつかのリン除去プラントの建設が進められてきました。テーゲル湖のリン浄化施設もそのひとつで、最先端技術のプラントとして1985年に建設されました。

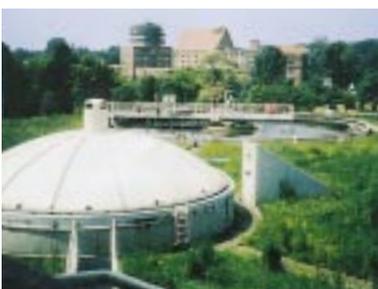
湖再生を目指して厳しい削減目標

テーゲル湖に流入する主な河川はテーゲル川とノルトグラベン川がありますが、両河川の流域で約840t/年のリンが発生します。このうち下水かんがい農場や下水処理場で60%が削減され、結果的に335t/年がテーゲル湖に流入します。その他には、農地等の面源から38t/年、隣接するハーベル湖から22t/年が流入し、流入負荷量は合計395t/年となります(琵琶湖流域は約654t/年)。ちなみに、テーゲル湖の湖面積1㎥当たりの年間リン流入量は約99tで、琵琶湖は

約1t。その結果、リン濃度は2.88mg/ℓ(琵琶湖南湖は0.019mg/ℓ)と極めて悪い状態となりました。ベルリン市は調査検討の結果、テーゲル湖の富栄養化問題を解決するためのリン濃度目標値を0.03mg/ℓと決めました。その対策としてリン浄化施設は、極めて重要な役割を果たしています。

処理水質は上水道での処理レベルとほぼ同じ。この施設では、リンの濃度に応じた適切な量の凝集剤(塩化第二鉄)を注入して攪拌し、生成した塊とともにリンを沈澱させ、その後ろ過することによりリンを除去しています。

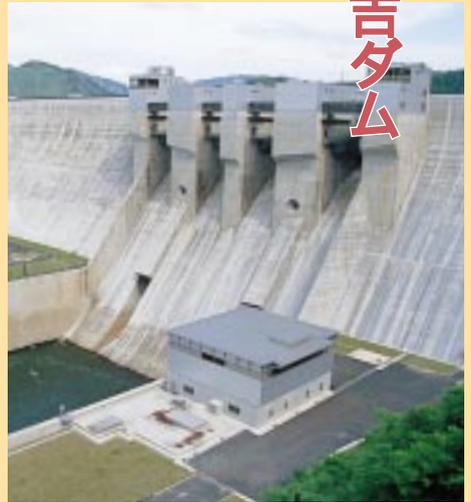
その処理水の水質は水道水をつくる浄水場の処理レベルとほぼ同じであり、これを河川浄化に適用するという事例は日本にはありません。



テーゲル湖の富栄養化対策の重要な役割を担うリン浄化施設

「地域に開かれた」日吉ダム

日吉ダムは昨年4月に運用を開始しました。10月にはダムの下流に天然温泉やプール、体育館を備えた「スプリングスひよし」もオープンし、大変賑わっています。京都府では、「地域に開かれたダム」の総仕上げを目指して、自然や歴史、文化とふれあつことができる「府民の森」(仮称)の整備を進めています。



日吉ダム

8号及び10号の接近に際しては、洪水調節に真価をいかんなく発揮するなど、府民生活の安心・安全を守る上で、今後とも、大いにその効果が期待されていると見られます。

日吉ダムは、下流の洪水防止、流水の正常な機能の維持、京阪神地域の都市用水の確保を目的に、昭和36年の構想発表以来、37年の歳月をかけて水資源開発公団により建設され、多くの方々の御協力を得て、昨年4月から運用を開始しました。

また、日吉ダムは、「地域に開かれたダム」として広く一般の人々に開放されています。「ビジターセンター」ではパネルや映像、模型等を使って日吉ダムをわかりやすく紹介するとともに、「インフォギャラリー」では全国のダム

(平成12年開園予定)を進めているほか、上流にはオートキャンプ場やパンガローを備えた京北町の「宇津峡公園」、ダム湖で魚釣りや水生生物の観察ができる八木町の「梅の木谷公園」、ダム直下には天然温泉やプール、体育館、レストラン等を備えた日吉町の「スプリングスひよし」がオープンし、休日ともなれば大変な賑わいとなっています。

でも珍しいダム堤体の内部の見学ができます。

また、ダム湖周辺では日吉ダムマラソンが一昨年からスタート。ダム直下の「スプリングスパーク」の広い芝生広場でもスポーツ祭典や音楽祭典をはじめ、各種のイベントが盛んに行われています。

周辺では128ヘクタールの森林に京都府が「府民の森」の建設

課(京都府企画環境部企画総務課)訪れてみませんか。



宇津峡公園



スプリングスひよし

平成11年度「琵琶湖・淀川水系の水環境改善事業助成」 「琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動助成」

募 集 の ご 案 内

琵琶湖・淀川水系の水環境改善事業助成

助成対象事業

地域に密着した身近な水質浄化事業
水質浄化事業に必要な材料調達システム作り及び材料調達
水質浄化事業におけるリサイクル推進事業
上記に関連する研究

助成資格 所在地が流域内にある以下の団体または個人(個人への助成は研究のみ)

特殊法人、公益法人(商法で規定される法人は除きます。)
大学、研究機関及びこれらに所属する個人(国公立は除きます。)
他の助成を受けていないこと
研究については、過去3年以内に本助成を受けていないこと

助成内容

・両助成ともに1件あたりの助成金額は30万円程度とします
・助成金の使途は、助成の目的を満足するものであれば、とくに制限は設けませんが、助成を受けた団体又は個人の事務所そのものの運営に関する経費、人件費等は除きます

琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動助成

助成対象活動

水質の保全・改善に関する活動
自然生態、親水、水源涵養等の機能を保全・改善する活動
水環境について知り、理解する活動

助成資格 以下のすべての条件に該当する団体

河川浄化・愛護活動を行っていること
活動の拠点または活動対象の河川・湖沼が琵琶湖・淀川流域内であること
過去1年間以内の活動実績があること
他の助成を受けていないこと
過去3年以内に本助成を受けていないこと

申し込み受付期間:

平成11年3月1日～平成11年5月31日(必着)

選考委員会が審査を行い、選考結果を6月末に通知いたします。

上記助成を希望される団体・個人は応募方法を(財)琵琶湖・淀川水質保全機構企画開発部までお問い合わせの上ご応募下さい。(インターネットでもご案内しています。)

編 集 後 記

「ばんちゃんの水探し紀行」いかがでしたか。最近は全国各地のミネラルウォーターがペットボトルで売られていますが、山で汲んだばかりの水は生命力にあふれている

という感じでした。琵琶湖の水も生まれたてはこんなにきれいな水だったんですね。ばんちゃんが次に訪れる名水は、どんな味がするのか楽しみです。(M.Y.&S.T.)



財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
Lake Biwa-Yodo River Water Quality
Preservation Organization

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構は、淀川水系における河川・湖沼の水質浄化技術及びこれに関連する技術に関する研究開発、水質浄化事業の支援等を行うことにより、淀川水系の水質保全に寄与し、もって潤いのある地域社会の形成と、関係住民の生活環境の向上に資することを目的としています。